



LIVE

feminist Talk



おはな
ウェリントン在住8年
働きながら、学ぶ人
アクティビスト

トレース
NZウェリントン出身 箕面市在住
箕面市役所勤務CIR（国際交流員）

移民を生きる

ニュージーランドで、そして日本で



2024年10月17日（木）18:30～

場所：箕面市立市民ギャラリー チカノバ（箕面市船場東3-7-35）
箕面船場阪大前駅改札口出ですぐ

参加費：1,500円（軽食付き）定員：20名（要申込・先着順）

箕面市とハット市が国際協力都市提携を結んで30年が経つ。ハット市があるニュージーランド（以下NZ）は、たくさんの移民を受け入れている。2023年は17万人の移民者が到着したという。移民を積極的に受け入れてきたNZでも、行き過ぎた移民施策という批判から就労ビザの取得が厳しくなり、見直しが行われているという。

実際に、NZウェリントンに移住して8年を迎えるOhanaさんに現地での生活について、移民コミュニティについて、また、箕面市役所でCIR（国際交流員）として働くNZ出身のニール・トレースさんに、日本で「移民」として生きる経験を聞く。

■主催：箕面市立多文化交流センター（指定管理者：公益財団法人箕面市国際交流協会）

■問合せ：公益財団法人 箕面市国際交流協会

TEL 072-727-6912 FAX 072-727-6920 info@mafga.or.jp